

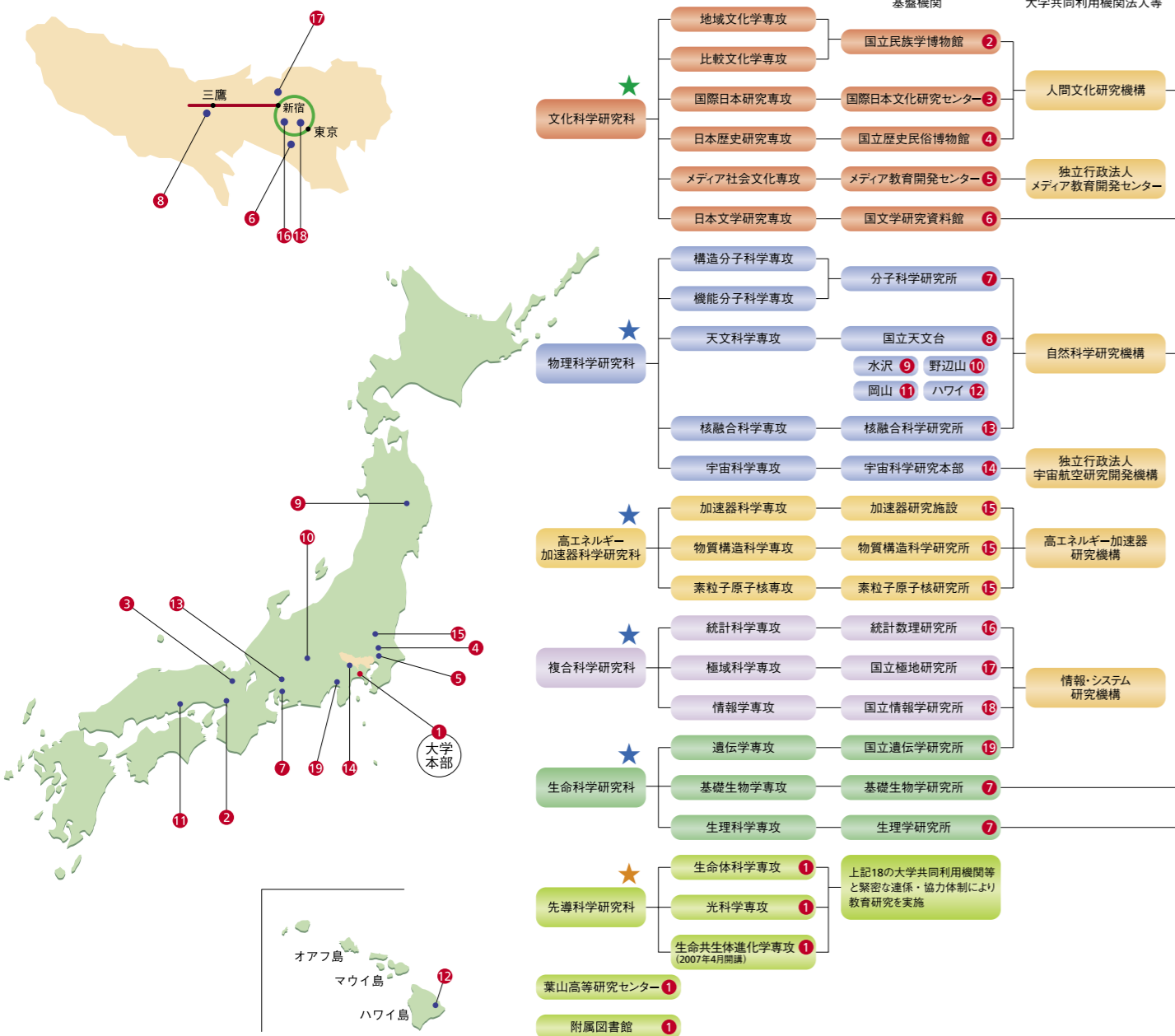
総合研究大学院大学の概要

総合研究大学院大学（総研大）の基盤は大学共同利用機関です。大学共同利用機関は日本が世界に誇るトップレベルの研究組織で、各種の大型の実験・観測施設および学術資料を保有しています。国内外の大学研究者が共同で利用できる国際的な研究拠点でもあり、多様な研究者集団と接する研究環境がつけられています。

総研大では、学生1人に対し教員数は2.5人という充実した体制で博士教育をおこなっており、その期間についても5年一貫のフレキシブルな制度を取り入れています。



- ★ 後期3年だけの博士課程
- ★ 5年一貫制博士課程／後期3年だけの博士課程
- ★ 2007年から5年一貫制博士課程／後期3年だけの博士課程
(生命体科学専攻、光科学専攻は後期3年だけの博士課程)



SOKENDAIピックアップ 2007年2月～8月 ※ピックアップの詳細は<http://www.soken.ac.jp/education/2-1.html>で紹介しています。

- 日本歴史研究専攻** (4) 9世紀ごろにイネ24品種、早稲・中稲・晩稲が存在したことを遺跡出土の木簡より確認。高度な稲作管理の実態が判明。
- メディア社会文化専攻** (5) 聴覚障害者へのはじめての研修支援システムとして、講演と字幕、パワーポイントが同時に画面上で閲覧できるアーカイブを、広瀬教授らが開発。オンデマンド方式で閲覧できる。
- 構造分子科学専攻** (7) 生細胞内のミトコンドリアで働くmRNAの局在と動態を可視化する蛍光プローブの開発に、小澤准教授らが成功。
- 機能分子科学専攻** (7) カーボンナノチューブ先端構造の化学合成とキラリティ制御に、櫻井准教授らが成功。
- 天文学専攻** (12) すばる望遠鏡、銀河系外の星にアクチノイド元素トリウムを初めて検出。
- 核融合科学専攻** (15) 大型ヘリカル実験装置において、経済的な核融合炉の指標となるプラズマ閉込磁場圧力比5%を達成。
- 素粒子原子核専攻** (15) Bファクトリー実験において、D中間子の粒子-反粒子混合現象を発見。
- 統計科学専攻** (16) 赤池弘次名誉教授の京都賞(2006年度)受賞を記念して、『赤池情報量規準AIC』赤池弘次ほか著(共立出版)と『ベイジアンモデリングによる実世界イノベーション』樋口知之監修(東京電機大学出版局)を刊行。
- 極域科学専攻** (17) 氷期・間氷期サイクルが、地球の公転軌道変化に伴う日射量の増減をきっかけとして起こっていたことを、南極ドームふじ氷床コアの分析から、川村助教らが突き止めた。
- 情報学専攻** (18) デジタルアーカイブにおけるコンテンツ統合・利活用研究プロジェクト「CEAX(シークス)」の実証実験を西東京市立田無小学校で実施。
- 遺伝学専攻** (19) ニホンメダカのゲム解読に成功。過去約4億年にわたる魚類ゲムの大規模な再編成を解明。魚類は脊椎動物の最下位に位置することから脊椎動物のゲム進化研究に貢献。
- 基礎生物学専攻** (7) 体液中のナトリウム濃度検知は脳のグリア細胞が行っていることを、野田教授らが発見。
- 生理学専攻** (7) われわれがよく普通に行っている急速性眼球運動(サックード)の際に視覚イメージを安定させる「サックード抑制」にかかわる神経回路を同定。
- 生命体科学専攻** (1) 大腸菌の環状ゲムの線状化に堀内教授らが挑戦し、世界で初めて成功。